

移住定住ガイドブック

宮崎県
木城町

&
アンド

K I J O
キジョー



私たちは木城町を選び、木城町と暮らす。



鉄道ない、国道ない、ないないの町

木城町

宮崎県のほぼ中央に位置し、面積の84%は山林原野が占める農山村のまち「木城町」

この町には鉄道もなく、国道もない。「ないないの町」と揶揄されて久しい木城町が今密かに注目されている。

大型のレジャーパークは『ない』
四方を山々に囲まれ、清流小丸川を抱くこの町は大自然が最高の遊び相手。今日も必死に遊び尽くし泥だらけの息子の手には、キラキラに光る泥だんごが。

高層ビル群が立ち並ぶキラキラした商業施設ももちろん『ない』
夜になるとこの町には静寂が訪れる。少し寂しいなと思いつつも、ふと空を見上げるとかつてプラネタリウムで見たような大パノラマの星空が。

何かに縛られることも、追われることも『ない』
一日を終え、ゆっくりと体を休める。
ふとした瞬間に気づく。
大切な家族の笑顔、ゆったりとした団欒の時間・・・
心満たされる感覚がこの町には『ある』

木城町では、『何もない』=『究極のある』と定義。
今ある自然や地域資源に磨きをかけ、
物的な豊かさや目先の利益にばかり目を奪われないまちづくりを目指しています。

「ないないの町」の魅力を探しに来てみませんか？



平成31年3月24日 宮崎日日新聞掲載移住PR広告
第29回宮日広告賞「大賞」受賞
第39回日本新聞協会新聞広告賞「優秀賞」受賞

ACCESS

宮崎市内→木城町役場	約50分
宮崎空港→木城町役場	約1時間
高鍋駅→木城町役場	約18分
高鍋1.C→木城町役場	約5分
※宮崎西1.Cから高鍋1.Cまで約25分	
東京国際空港→宮崎空港	約1時間30分
大阪空港→宮崎空港	約1時間5分
福岡空港→宮崎空港	約45分
宮崎空港駅→高鍋駅	約40分
博多駅→高鍋駅	約5時間
神戸港→宮崎港	約13時間30分
※宮崎港から車で木城町まで約50分	

宮崎県木城町 移住定住ガイドブック

&
アンド K I J O

木城町役場 地域政策課

〒884-0101 宮崎県児湯郡木城町大字高城1227-1

TEL0983-32-4727 FAX0983-32-3440

<http://www.town.kijo.lg.jp/>



発行日：令和6年3月 ※年齢については取材当時



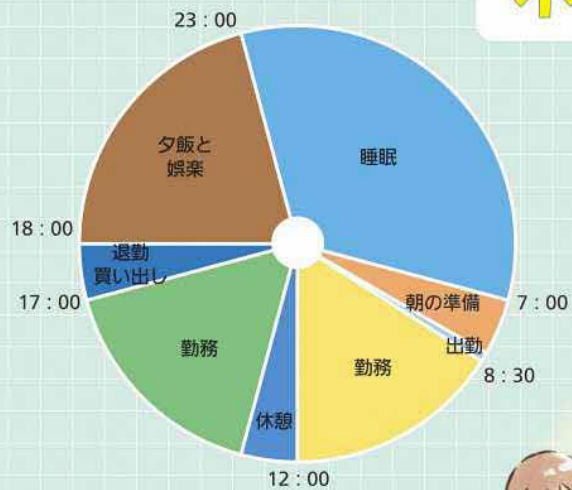
北緯32度 9分37秒
東経131度 28分32秒

木城町 DATA
面積/145.96 km²
総人口/4,798人
(令和4年2月現在)

年平均気温17.2℃、平均湿度72%、降雨日数100日、降水量約2,400mmと多雨であり南海型気候区をなしているが、山地部は4月中旬まで晩霜を見ることがあり山地型気候区に属しています

木城と東京の暮らし比べてみました！

木城の1日



もし、都市部から木城に移住したとしたら、日々の暮らしはどれだけ変わるのでしょうか。
移住者の実際のデータにもとづいて、気になる暮らしのアレコレを比較してみました。

東京の1日



勤 務時間が大きく変わって、朝・夕の時間をのんびり過ごせるようになった。通勤ストレスも減って、時間的余裕ができた分、気持ち的にもゆとりが増えた。地域の直売所では安く美味しい野菜や肉が買える。特に国産肉の手頃さと美味しさに驚き！



仕 事の始業が10時からと遅めなのもあって、残業も日常茶飯事で帰る時間は21時くらい。遅い時間にはなるけど、通っている居酒屋もあったから特には辛くはなかった。人と会うことでストレスをコントロールしていて、忙しくてもたくさんの人と関わりながら、楽しく生活していた。

住まい

1DK (38㎡)、スーパー・コンビニまで車で2分、買い物に便利な隣町まで10分、最寄駅(高鍋駅)まで15分、宮崎市まで1時間

交通手段

自家用車

食費

交通手段が車によって飲み会の機会が激減。基本的には毎日自炊。野菜や肉の値段が安いから、出費も少なく済む。



1ヶ月の生活費

職業	一般会社員
給与(手取り)	¥180,000
家賃	¥20,000
携帯電話料金	¥15,000
奨学金返済	¥16,000
食費	¥30,000
光熱費	¥8,000
交通費*	¥20,000
娯楽費	¥30,000
貯蓄	¥41,000

*ガソリン・保険料込み

1ヶ月の生活費

職業	Webディレクター
給与(手取り)	¥270,000
家賃	¥70,000
携帯電話料金	¥15,000
奨学金返済	¥16,000
食費	¥80,000
光熱費	¥10,000
交通費	¥10,000
娯楽費	¥40,000
貯蓄	¥29,000

住まい

バストイレ別1K (25㎡)、最寄駅まで徒歩10分、世田谷区

交通手段

電車、徒歩

食費

最寄駅から近く、気が合うオーナーのいる居酒屋へ。遅いときは深夜1時なんてことも。外食の機会も多く、遅くまで仕事をした日は、コンビニでお酒とおかずを買って1,000円を超えることも。





川名さんファミリー／埼玉県出身の川名 俊和さん（38）、東京都出身の彩さん（38）、織ちゃん（12）、燦ちゃん（10）、慧ちゃん（8）、想ちゃん（5）、朔ちゃん（3）、凰くん（1）



「この町で自身が立ち上げた会社『RE-PLUS』を運営する川名さん夫婦。病気や障がいといった様々な理由で生活に困難を抱える人に対し、医療とリハビリテーションを提供しています。以前は隣の町の病院に勤務していた俊和さんでしたが、地域医療に貢献するため、平成27年に自ら開業しました。設立当初は訪問看護のみだったものの、「24時間支援が必要な人が住み慣れた地域で自分らしく生活していくためには、ご本人とご家族をもっと多角的にサポートする必要がある」と感じた俊和さんは、令和3年に通いや泊まりで看護サービスが利用できる『看護小規模多機能型居宅介護』の『Forest』を新たにオープンしました。事業拡大に際し、最初は躊躇していたという俊和さんでしたが、役場のサポートもあり挑戦に踏み切ることができました。

「起業して以来、役場の方はほぼ顔見知り。今回もかなり親身に対応してくださり、補助金の申請なども手厚くサポートしてくださいました」

結果、従業員は5人から30人へ増え、働き方や環境も改善。木城町で最も医療福祉の専門職が在籍する会社へと成長していった。

「起業して以来、役場の方はほぼ顔見知り。今回もかなり親身に対応してくださり、補助金の申請なども手厚くサポートしてくださいました」

結果、従業員は5人から30人へ増え、働き方や環境も改善。木城町で最も医療福祉の専門職が在籍する会社へと成長していった。



↑ RE-PLUS の HP

& KIJO

【木城だからできたこと】
木城町で新たな挑戦に踏み出した移住者の皆さん。
それぞれのストーリーをご紹介します。

“わたし達”&KIJO 事業は広がり、家族も増え、 公私ともに大きく成長



5年前の川名さん一家



川名さん一家が木城町に移り住んだのは、平成22年のこと。最初は3人だった家族も今や8人に増え、犬の吟（ぎん）くんも仲間入りし、明るく賑やかに日々を送っています。

踏み出す新しう一歩

この町で自身が立ち上げた会社『RE-PLUS』を運営する川名さん夫婦。病気や障がいといった様々な理由で生活に困難を抱える人に対し、医療とリハビリテーションを提供しています。以前は隣の町の病院に勤務していた俊和さんでしたが、地域医療に貢献するため、平成27年に自ら開業しました。設立当初は訪問看護のみだったものの、「24時間支援が必要な人が住み慣れた地域で自分らしく生活していくためには、ご本人とご家族をもっと多角的にサポートする必要がある」と感じた俊和さんは、令和3年に通いや泊まりで看護サービスが利用できる『看護小規模多機能型居宅介護』の『Forest』を新たにオープンしました。

由で生活に困難を抱える人に対し、医療とリハビリテーションを提供しています。以前は隣の町の病院に勤務していた俊和さんでしたが、地域医療に貢献するため、平成27年に自ら開業しました。設立当初は訪問看護のみだったものの、「24時間支援が必要な人が住み慣れた地域で自分らしく生活していくためには、ご本人とご家族をもっと多角的にサポートする必要がある」と感じた俊和さんは、令和3年に通いや泊まりで看護サービスが利用できる『看護小規模多機能型居宅介護』の『Forest』を新たにオープンしました。

長し、新たな一歩を踏み出しました。



“大きな家族”に見守られて

「中仕事をしている私たちに代わり、学校から帰ってきた子どもたちを迎えて宿題を見てくれるなど、ご近所さんがよく手伝ってくださいます。」

「起業して以来、役場の方はほぼ顔見知り。今回もかなり親身に対応してくださり、補助金の申請なども手厚くサポートしてくださいました」

結果、従業員は5人から30人へ増え、働き方や環境も改善。木城町で最も医療福祉の専門職が在籍する会社へと成長していった。

どんな時も 変わらない日常がある

この町に定住し、家族も増え、すっかり「木城人」となった二人。最近改めて「木城でよかった」と思うことがあったと言います。

「ここには『1人で頑張らなくてもいい』と思える環境がある。親にとつては、それが一番ありがたいことじゃないかと思うんです」

「新型コロナウイルスが猛威を振るった時、多くの人たちが『これまでの生活』を手放すことを余儀なくされましたよね。しかし、そんな状況でも木城町の日常は壊れなかった。『三密』になる環境も少ないですし、庭でのびのび遊んだり、家族で近所の公園に行ってお弁当を広げて食べたり...これまでと変わらない過ごし方ができていたんです」

人の温かさ、心潤す自然も、恵まれた食も。田舎ならではの不便さはあるにしても、木城には豊かな暮らしを送るために必要なものはすべて揃っているのだと教えてくれました。

「料理」を通じて

木城の食の豊かさや

街の魅力を発信

『トラットリア キジヨリーナ』の看板を掲げ、鮮やかな黄色のキッチンカーで県内各地を巡り、腕を振るった料理を提供しているイタリアンシェフの岡田陽輝さん。木城町へ移住してきたのは2021年10月でした。

緊急事態宣言の発令により、岡田さんが働いていた銀座のイタリアンレストランも臨時休業を余儀なくされ、働き方も変化していました。

「妻の母親の土地が何十年も空いていてもつたいないなということや、近い将来に妻がお義母さんと一緒に過ごすことになることもあり、移住を決めました。妻は現在も横浜で美容室を営んでいるので、まずは1人で木城へ来ることに。右も左も分らない状態でした。この土地でお店を出すのから検討した結果、大きな通りから離れていることもあり、人が集まる場所に自ら出向く方がいいんじゃないかと、キッチンカーで販売するスタイル

都会での生活から一変

自然や星の美しさに

心が洗われる

東京での生活は、銀座で夜10時ぐらゐまで仕事をして、その後仲間と飲みながら他の飲食店を巡って終電で家に帰り、また11時くらいに出社するという、都会ならではの生活をしていた



“料理” & KIJYO シェフとしての 経験と技術を生かして おいしい料理で 木城と宮崎を豊かに



でスタートしました。木城のイタリアン、ということでも『キジヨリーナ』という店名にしましたが、木城の皆さんも喜んでくれましたね。

移住前に宮崎県産業振興機構や木城町の役場に相談して補助金や支援金制度を紹介してもらい、それらも活用しました。さらに、木城町の空き家バンク制度を通じて紹介いただいた一軒家に住むことに。関東ではマンション生活だった岡田さんの木城での生活がスタートしました。

という岡田さん。

「眠るのが惜しいような、こちらとは全然違う生活でしたね。木城町は自然が豊かなので気持ちも洗われます。夜になると星がすごくきれいです。星の明かりで照らされて、びっくりするくらい明るい。東京では、ネオンがないところは真っ暗になり、歩けないくらいだったけど…。そして、木城の



3匹の猫と暮らす岡田さん。休みの日には猫とお出掛けも！



店の看板メニュー「ボロネーゼ」。木城町ふるさと納税の返礼品としても人気



皆さんは気持ち温かい人ばかりです。のんびりとした雰囲気、セカセカしない生活も魅力だと感じます。食材を仕入れている農家さんのところに迷い込んだ子猫を飼うことになり、さらに横浜で元々飼っていた猫2匹も連れてきました。今は一軒家に猫3匹と一緒に生活しています。休みの日には猫を車に乗せて隣の蚊口浜公園まで行き、海辺と一緒に散歩するのが楽しいんです。仕込みから調理、キッチンカーでの販売までを1人でやる忙しい日々の中でも、仕事がオフの日は、自然を満喫し少しのんびりとした時間を堪能しているそうです。

もっともっと

木城を知ってもらいたい

「木城町にある調理場はゆくゆくは改装してレストランを増築できるように設計しているので、妻が木城に戻って来たら、美容室も備えた店舗を構えるのもいいな、という風に考えていますね。キッチンカーを使って皆さんの

元に出向く今のスタイルも続けていきたいですね。

また、2年ほどかけて準備したふるさと納税の返礼品の提供もスタート。キッチンカーで回る宮崎県内よりさらに広い範囲に、木城町の食材のおいしさを広められるようになりました。



「毎日でも食べたいイタリアン」をコンセプトにしています。料理は未知の世界といわれていますが、毎回、こうしたらおいしくなるんじゃないかと研究し、更新しながら作っています。地域の方々とも交流を深め、木城をもっと盛り上げられるような企画もやっていけたらなと思っています。



トラットリア
キジヨリーナ

数種類のパスタ、ローストビーフ、バターチキンカレーなどをキッチンカーで提供。キッチンカーの出店情報はインスタからチェック！



お店のInstagram

転勤で訪れた

宮崎の地が気に入って

愛犬と宿泊できるペンション『wanvino（ワンヴィーノ）』を経営する宗像さん夫婦。はじめて宮崎にやってきたのは、2008年でした。東京で勤めていた会社の転勤で隣町・高鍋町に引っ越したのがきっかけです。いつかは田舎暮らしをしたいと考えていた眞悟さんは、45歳の時に脱サラ。退職したらやろうと考えていた、ペンション経営の計画をスタートさせます。

「当時から犬を飼っていて、犬にとっても宮崎は良い環境だなと感じていました。生活のしやすさに惹かれて、宮崎にこのまま住むことを決意しました。児湯郡を中心に場所を探していましたが、中でも、緑に囲まれていて景色が素晴らしい木城町が魅力的でした。店をやるにあたって広い土地が確保できることも条件だったので、それをクリアしていた点でも木城町が最適だったんです。役場には何度も通って相談しましたよ。店を構えるのに好条

**前例のない挑戦にも
きっと大丈夫！」**

大阪府で生まれ育ち、宮崎大学農学部に進学。1年半のアメリカ留学などを経て養豚を学び、卒業すると即起業。全国でも珍しい「放牧養豚」に取り組む農家として、2020年にその第一歩を踏み出しました。放牧場を自由に歩き回ることのできるのびのびとした環境で、豚にとってストレスの少ない飼育法に取り組んでいます。

「始めるのにはとても苦労しました。養豚場を開くために各自治体を当たりましたがなかなかうまくいかず、なにせ「養豚で新規就農」という前例が少ない上、「放牧飼育」となるとなおさらでしたから。要件を満たせば補助金を受け取れる国の認定農業者制度の申請に際しても、他では『無理だ』と言われ半ば諦めていたところ、木城町と出合ったのです。役場の担当の方に相談すると、僕の企画書を見て『きっといけますよ！』と。すぐくうれしかったですね。その後、認定獲得はもちろん新規就農者支援事業の支援金もいた

件な場所を紹介していただき、住宅と起業に関わる支援金の世話をさせていただきました」。

wanvino は2014年にオープン。ブルゴーニュワインと厳選した宮崎の

食材を使った料理が楽しめます。最近では、1日1組限定のオートキャンプサイトも新設しました。



“旅館業”&KIJIO [木城だからできたこと]

念願だったペットとの田舎暮らし



宗像眞悟さん (55)
[福岡県出身]
宗像美穂さん (52)
[福井県出身]

**自然に囲まれた環境で
快適に暮らす**

「朝は小鳥のさえずりで目覚めて、夜は満天の星空を眺められて本当に幸せです」と美穂さん。町の中心部から離れた地域で生活していますが、不便に感じることは特にないのだそうです。むしろ、「高鍋インターチェンジは近いですし、空港も車で1時間かからないので、意外と便利な場所だと思っています。これからもペットの犬猫と一緒にのんびりとした暮らしを楽しんでいきたいです」と二人は声を合わせて話します。

“養豚”&KIJIO [木城だからできたこと]

この町で、養豚農家として走り出す



有方 草太郎さん (26)
[大阪府出身]

フェア（動物福祉）に配慮した飼育法。欧米では一般化しつつある一方、日本ではまだまだ浸透していないのが実情です。有方さんには、この考え方や飼育法を日本で広げていきたいという夢があります。「欧米に比べて土地の少ない日本でも動物福祉が進み、ストレスの少ない飼育法のおかげですばらしい肉質が得られるとなれば、大きな付加価値にもなります。まずは僕がここ木城町を起点にそれを実証し、次のステップへの足がかりにしたいのです」と、熱く語ります。若い有方さんの挑戦は、まだまだ始まったばかりです。

**夢に向けた
ファーストステップ**

有方さんが取り組む放牧養豚は、動物の『生』を尊重するアニマルウェル

だくなど、とにかく手厚く世話していただきました。放牧養豚の実現には、木城町の心強い「助っ人」の存在が無くてはならなかったようです。



新規就農者支援事業を活用 (詳細は P19)

←パイオニアパーク HP



小規模企業者経営支援事業を活用 (詳細は P19)

ワンヴィーノ HP →

おもしろ&意外なこの町の真実

木城あるある

real kijo/

aru

aru

苦手だった「虫」は もはや同居人

木城町は自然がいっぱいだけ
ど、そのおかげか虫たちもの
びのび生きている。なにせ、
量とデカさが都市部の比では
ない。最初は遭遇するたびに
ビクビクしていたけど、今で
は慣れたもの。大きなクモと
共同生活を送れるくらいにな
らないとやっつけていけないみ
いだ。



頼れる&じわじわくる 町内放送

念願の木城生活、実際に住んでみると想定外の事実につ
くり！ 外から見ていただけでは分からない、木城のあ
な一面やこんな一面をお届けします。移住の前に読んでお
くと役に立つかも!?

各家庭に設置されたスピーカー
から流れるのは、「コスモス通
信」と呼ばれる町からのお知ら
せ。不意に流れる大音量に驚か
されることはあるものの、災害
時には二ユース速報よりも早く
避難情報を知らせてくれる心強
い味方。懐メロが流れたり、修
学旅行中の地元中学生と電話を
つないだ「現地リポート」で
は、町中に響く「今から枕投げ
しまーす!」の声。今日も木城
は平和だ!



中学生による
修学旅行リポまで!?

鹿の飛び出し 「シカたな〜?」

温和な町民性により交通事故
はなんと10年以上起きていない。
そんな譲り合いの精神も、大自
然からひょっこり飛び出す野生動物
には通用しないようだ。夜のドラ
イブ中に、鹿が突如飛び出し衝
突!! 鹿は平然と山へ戻っていく
が、こちらの車は…なんてことも
しばしば。山間部のドライブには
十分ご注意ください。



家も土地も広々 豪邸も夢じゃない!

木城町の良いところの一つが土地
の安さ。都会では一坪ウン十万と
かウン百万とか聞くけど、木城町
では町の中心部でも坪4〜5万円、
少し離れたと坪2〜3万円くらい
という驚きの安さ。都会で暮ら
していたら手に入れるのが困難な広
い土地を、安価な価格でゲットで
きる。一國一城の主になる夢もこ
こなら叶えられそう。

天然の プラネタリウム 夜の楽しみは 星空鑑賞

木城町の夜はとにかく暗い! 民
家の数が少なくって農村地帯が広
がっているからなんだけれども、
おかげで、天気が良い日の夜は、
とにかく星が綺麗で、満月の日は、
月影ができるほどの明るさ。これ
は田舎の特権と言っても過言じゃ
ないはず。レッツ月光浴〜!



月光で
日焼けできます
※どきません

木城町地域子育て支援センター

「ぽけっと」



赤ちゃんの遊び場であり
親子と地域の交流の場

親子で気軽に遊びに来ることが
できる子育て支援施設です。
育児相談、親子向け講座の
開催、地域の子育て情報を
提供などを行なっています。
保育園に隣接されており、
時折子どもたちの元気な声が
聞こえてきます。室内は職員



の先生たちが手作りしたカラフルな飾りで彩られ、赤ちゃんもリラックスできる温かみのある雰囲気です。広々とした空間におもちゃや絵本が並び、月齢や成長に応じた遊びを職員が提示してくれます。
午前・午後の決まった時間には円になって座り、職員「おともだち、こんにちは〜」の掛け声が始まる、からだ遊びや手遊び、絵本の読み聞かせなどを行なっています。名前を呼んでお返事の練習やお片付けも楽しみながらチャレンジ。毎月、イベントも企画しており、季節に応じた製作やふれあい遊びも楽しめます。
お友達や家族以外の大人と触れ合うことができ、赤ちゃんにとっても成長を促す良い刺激になりそうです。お母さん同士の情報交換や交流の場にもなっており、親子の憩いの場として親しまれています。

週に2〜3回利用しています。おもちゃがいっぱいある場所と分かっているようで、人見知りすることもなく、とても楽しんでいます。
初めての子育てに不安になることも多いですが、先生や先輩お母さんたちに実体験を教えてもらっています。ほぼ毎日のように来ていて、親子で楽しい時間を過ごしています。
結婚を機に木城町に移住してきました。上の子ども2人の時からよく利用しています。センターでは同世代のお友達もでき、ありがたい存在です。
役場に勤めており、育児を取得中です。息子はここに来てたくさん遊んでからお昼寝するのがルーティンなので、先生たちに遊んでもらって、とても助かります。



山崎 絵梨さん
衣莉ちゃん
(10ヶ月)

堀口 詩織さん
明莉ちゃん
(1歳2ヶ月)

尾崎 亜純さん
秀佑くん
(1歳1ヶ月)

泥谷 昌尚さん
旺樹くん
(1歳)

保育園・子ども園

町内には保育園が2カ所
認定子ども園が1カ所あり
ます。町内在住の園児
は保育料軽減措置があり
ます。(※詳細はp18)



どんぐり保育園
定員：60名
対象年齢：満6ヶ月以上
就学前まで
木城町大字高城3683-1
☎0983-32-2146



石井記念のゆり幼児園
定員：60名
対象年齢：満3ヶ月以上
就学前まで
木城町大字椎木467-1
☎0983-32-3738



木城町立めばえ保育園
定員：110名
対象年齢：1歳以上就学前まで
木城町大字椎木4246
☎0983-32-2522

地域の人たちも親切で
温かい方が多く、子育て
しやすい町ですよ。



めばえ保育園・保育士
菅研一朗先生

木城町病児・病後児保育施設「ひだまり」

病気で保育園・小学校に登園・登校ができないお子
さんの預かり、看護師や保育士が保育と看護を行
います。働きながら安心して子育てができます。

【場所】木城町立めばえ保育園敷地内
【利用時間】8時半〜17時(平日のみ)【利用料金が必要です】
※施設の利用には年度当初に事前の利用登録が必要です
※詳しくは木城町役場福祉保健課(☎0983-32-4733)

木城町地域子育て支援センター「ぽけっと」

親子で気軽に遊びに来ることが
できる子育ての広場
です。

【事業内容】

- ◎親子交流の場・子育てに関する相談・援助
- ◎地域の子育て関連情報の提供・親子イベントや講習会の実施



◎対象者/就学前の乳幼児(保護者同伴)
◎センター利用日/毎週月曜日〜金曜日
【室内利用時間】午前9:00〜12:00、午後1:00〜4:00
【園庭解放時間】午前9:00〜12:00
木城町大字椎木4246(木城町立めばえ保育園内)
☎0983-32-2522 FAX0983-32-4810

主なイベント

- わんぱく広場…[毎月1回]
体を使った親子のふれあい遊び
- ちよきちよきクラブ…[毎月1回]
製作遊び(主に保護者向け)
- 木っずくらぶ…保健センターにて
さまざまなイベントを実施

上の子ども2人は隣接の保育園に通っています。人見知りすることなく楽しく過ごしています。色々な刺激を受けるようで、ぐっすり眠ってくれます。



神田志穂さん
幸乃愛ちゃん(6ヶ月)



服田香織さん
琳太郎くん(8ヶ月)

東京在住ですが、里帰り出産のため実家に帰省しています。上のお兄ちゃんは保育園を一時利用しています。とても子育てしやすい街だと改めて感じます。

赤ちゃん同士の触れ合いの場、お母さん同士の情報交換の場にもなっています。困ったことなどを気軽に相談できる窓口として、子育ての中のちょっとした息抜きとして活用してくださいね。

子育て支援員
鈴木 民代さん(右)
河野 加代子さん(左)



個に応じた指導を強化
学力向上サポーター
特別支援教育サポーター



習熟度に応じた個別指導や少人数での教科指導、また特別な支援を必要とする児童生徒に学習面や生活面での支援を行い、学力向上を図るため、木城学園に学力向上サポーターや特別支援教育サポーターを配置しています。

各サポーターを配置することで、児童生徒の学力に応じた指導を行うことができるため、児童生徒の困り感に寄り添いながら、きめ細やかな指導・支援を行うことができ、子供たちは安心して学校生活を送ることができます。

すべての子どもが安心して
給食を楽しめる
給食費を全額補助



子育て世帯への支援策として、木城町では木城学園において給食費を全額補助しています。加えて、白米はすべて町内産を使用し（週3回米飯給食）、野菜や牛肉・豚肉も町内産のものや有機野菜を使用する献立があるなど、地産地消にも取り組んでいます。また、学校に隣接する給食センターで調理し提供するため、温かい給食を食べられます。給食費のほかに、修学旅行費を補助するなど、保護者の負担軽減策が充実しています。

小中一貫教育を導入する事への期待



地域と一体となった学校づくりを推進する
コミュニティ・スクール

本町では、複雑化・多様化する子ども達を取り巻く環境に対して、学校・家庭・地域社会が一体となった学校づくりに資するとともに、木城町が抱える様々な課題を地域と深くかかわりながら解決し、町づくりを推進することを目的に、コミュニティ・スクール（木城町学校運営協議会）を設置しています。コミュニティ・スクールでは、木城町の町づくりに尽力されている団体の代表の方々に委員となっただき、学校運営についてご意見を頂き、よりよい学校づくりに努めています。また、地域からの要望も学校教育に取り入れ、児童生徒の活動に活かしています。

さらに、地域と学校をつなぐ役割として地域コーディネーターを配置し、地域と連携した教育活動の推進に努めています。



木城町地域コーディネーター
大山 博志さん

未来を担う子どもたちを学校と地域が一体となって育てていくために、学校と地域をつなぐのが地域コーディネーターの役割です。私は、以前は木城中学校の校長でした。これまで学校の中から進めてきた子どもたちの学びをこれからは地域の皆様と一緒に支えていきます。



小中一貫による義務教育学校の設置で
木城の教育に新風を吹き込む



移住先を考えるときに、気になるのが「教育」です。「自然豊かな環境で子育てをしたいけれど、確かな学力と人間性も身に付けて欲しい！」という声をよく耳にします。そんな、子育て世帯の移住希望者へ朗報です。木城町では、町制施行50周年の節目の年である2023年度（令和5年

度）に小学校1校及び中学校1校をひとつにまとめ、小中一貫教育を行う新たな学校、義務教育学校『みどりの杜木城学園』を開校しました。新しい校舎やICT教育環境の整備など、ハード面での教育環境の充実はもちろんのこと、これまで、町独自で実施してきた学力向上サポ



子育て世帯からの注目を集め増加を続けています。

ター制度による「学力の向上」や給食費等の助成による「保護者の負担軽減」などソフト面での支援についても継続して実施するなど、「木城の明日を担う心豊かでたくましい人づくり」への熱い取組は全国の移住希望者からも熱い視線を集めています。



木城町立みどりの杜 木城学園

令和5年4月に開校!!

知っておきたい木城の名品&おすすめスポットをご紹介します。

大自然に囲まれて遊びつくせ！ 川原自然公園 [KIDS PICO PARK]



北欧デンマーク生まれの珍しい遊具が盛りだくさん！「こころ・頭・からだをフルに使い、楽しみながら生きる力を育む公園」がコンセプトの遊具広場が令和3年3月に川原自然公園内にオープン！公園内にはボルダリングやカヌーなどのアクティビティも充実！キャンプやBBQもできるから、大人も子どもも大満足間違いなし。



木城えほんの郷



みどり深い山々に囲まれており、世界の色とりどりの絵本約20,000冊や、自然への深い愛を語り、生きる喜びをうたう絵本原画を中心に展示しています。お気に入りの絵本が見つかったら購入することができます。

木城温泉館湯らら



肌に優しい単純泉のお湯で、様々な湯船が疲れたあなたをほかほか癒します。癒せる、愉しめる、「湯らら」のお風呂をご堪能ください。木城の美しい空気と緑、そしてお湯がゆっくりあなたの心と体を癒します。

中八重緑地公園・ピノックパーク



サッカーコート2面分の芝生広場があり、サッカーやラグビーの試合等にも利用可能。大型野外テントも完備し、雨天時でも遠足等で利用できます。県内ではここだけしかない大型トランポリン「ふわふわドーム」や、健康遊具等もあり、子供から大人まで楽しめます。

尾鈴山の水が旨さの秘訣 尾鈴山蒸留所

鳥のさえずりや川のせせらぎが心地よく響き、清々しい空気に包まれた中、尾鈴山の湧水を使い、地元の原料で焼酎・ジン・ウイスキーを製造している蔵。伝統的な麹づくりや木桶の発酵を行い、手仕事を大切にしながらお酒造りを行っています。



町外の人にも訪れる人気のスイーツ店 パティスリー コマド

地元だけでなく、地域外からも人気のケーキ屋さんです。特に苺のロールケーキは県外から買いに来る方も多く、絵本のような四角いバウムクーヘンも柚子のほろ苦さと甘すぎないスポンジが絶妙にマッチしており人気の商品です。



OECフーズ



O(お客様の)E(笑顔を作る)C(カンパニー)であり続ける事を誓い、和洋折衷豊富なメニューを提供。また、コンニャクと小麦粉を練り上げた「養生麺」は臭みもなく食物繊維たっぷりのヘルシー麺で、女性だけでなく男性からも大変人気です。



養生麺

木城町農産物販売所「菜っ葉屋」



木城町で生産された農産物などの直売所です。木城町の新鮮な野菜、果物、豚肉、加工品、乾物などを取り揃えています。また、イチゴや栗、抹茶など、季節によって味が変わるソフトクリームが大人気。

山菜長越



山菜を使ったお弁当やそばなどの田舎料理の店。「山菜ピーコー」は、台湾ちまき風の山菜おこわ。蒸したもち米のなかに、椎茸等の具を入れて、竹の皮に包んで蒸します。もち米の弾力とほのかな山菜の味が懐かしさを誘い、お土産にも好評です。

山菜ピーコー

木城町には充実した支援制度があります。

▼定住促進奨励金制度

転入奨励金

単身転入 **10万円**
 家族転入 **30万円**

住宅取得奨励金

新築取得の場合

町内建築業者を元請けとした場合
 建築費用の20%以内
上限200万円

町外建築業者を元請けとした場合
 建築費用の10%以内
上限100万円

購入取得の場合

購入費用の10%以内
 (取得後6ヶ月以内のリフォーム費用含む)
上限80万円

就学・進学奨励金

小学校就学準備金 **2万円**
 中学校進学準備金 **3万円**
 高等学校等進学祝金 **5万円**
 大学等進学祝金 **10万円**

個別加算

転入世帯
最大50万円加算

子育て世帯

15歳未満の子1人当たり10万円加算

民間サービス

令和4年から宮崎ケーブルテレビのエリア拡大によるサービス提供も始まり(一部地域)、一層快適な暮らしが望めます。

木城町はたくさんの支援がある温かい町です。まずはお気軽にご相談下さい。



移住定住コンシェルジュ
 山下 智大



ふるさと帰郷・きじょう暮らし定住促進奨励金HP

共通条件

①生活保護等の措置を講じられていないこと。 ②税、使用料等の滞納をしていないこと。

新規就農者支援事業

①農業後継者等支援事業

就農初期に係る運転資金等について用途を限定せずに交付。
 ・100万円(夫婦で就農の場合150万円)
 ※国による支援対象者は除く。

②機械導入・施設整備等支援事業

農業経営の開始に必要な機械又は施設取得改良等に要する経費の一部を補助。
 ・補助対象経費の2分の1以内(上限200万円)

③独立・自営就農環境等整備事業

認定新規就農者が農業経営の開始に必要な施設等の整備に要する経費の一部を補助。
 ・補助対象経費の2分の1以内(上限1,500万円)

小規模企業者経営支援事業

新規起業のための開業・開店等に要する経費の一部を補助。
 ・補助対象経費の2分の1以内(上限300万円)

木城町空き家情報バンク制度

町内の空き家情報の登録、提供。利用登録していただいた方へ、空き家情報が入り次第、その都度ご案内。

空き家をお探しの方へ

空き家情報バンクの利用登録をご利用ください

木城町では、移住定住希望者の方へ空き家情報バンクを開設し、情報の提供を行っています。空き家バンクを通じて物件を購入または賃貸した場合には、リフォーム費用等の補助(100万円上限)が活用できます。空き家物件で理想の住まいを手に入れませんか。



空き家情報バンク



木城町移住定住等
 空き家流通促進事業

©地域政策課 ☎0983-32-4727

▼生活支援制度

出産・子育て

保育料軽減

町内在住の園児の保育料の軽減措置。
 3歳未満は上限30,000円、3歳以上は無料
 在園児、第2子は半額、第3子以降は無料

妊婦健診・産婦健診費用助成事業

妊産婦にかかる健診費用を全額助成(妊婦14回、産婦2回)。

新生児聴覚検査助成事業

新生児にかかる聴覚検査費用を全額助成。

任意予防接種助成事業

おたふくかぜ(幼児)・三種混合および不活化ポリオ(就学前1年間)の予防接種料金の一部助成。
 また、季節性インフルエンザ予防接種料金について乳幼児から65歳未満を対象に一部助成。妊婦については全額助成。

教育

学力向上サポーター

木城学園に学力向上サポーターを配置し、少人数指導や習熟度に応じたきめ細やかな授業を実施。

特別支援教育サポーター

木城学園に特別支援教育サポーターを配置し、通常の学級に在籍する支援が必要な児童生徒に対し、学習面や生活面での支援を実施。

奨学金貸付事業

高校生 10,000円/月
 大学・専門学校等 30,000円/月
 ※学校卒業後、木城町内に住所を有し5年間勤労(県内)した状態が続けば返還免除。

副教材費助成

木城学園在学者の副教材費を一部助成。
 前期課程(小学校) 4,000円/年
 後期課程(中学校) 6,500円/年

暮らし

乗合タクシー「あおばと号」

ご自宅から町内の拠点施設間の移動を乗合タクシーにて支援。
 1乗車200円 ※高校生以下100円、未就学児無料
 運行日:月・水・金

子ども医療費助成事業

【外来・入院・調剤】
 未就学児～小中高生→自己負担なし

妊婦歯科健診等助成事業

妊婦の歯科健診・治療費を助成(1万円上限)

むし歯予防事業

1歳6か月から就学前の幼児を対象にフッ素塗布助成券(無料券)を年3回配布。町内の保育園および木城学園においてフッ化物洗口を実施。

出産・子育て応援給付金

出産応援給付金(妊娠時) **15万円**

子育て応援給付金(出産時) **15万円**

※保健師による面談の実施やアンケートの回答が必要

義務教育学校給食費補助金

木城学園児童生徒の給食費を全額助成。
 小学校1ヶ月4,300円 → 無料
 中学校1ヶ月4,800円 → 無料

義務教育学校修学旅行補助金

木城学園6年生・8年生(中2)の修学旅行にかかる費用を一部助成。

英語教育強化支援事業

英語基礎講座(発音・読み書き)
 対象:6年生 春～夏の期間で毎週水曜日(15名定員)

英検3級受験対策講座

対象:9年生(中3) 夏～秋の期間で毎週水曜日
 (15名定員)

各講座とも無料

通学用制服購入補助

木城学園7年生(中1)進学予定者の制服代を一部助成。

路線バス利用助成

路線バスを1乗車200円(小学生100円)でご利用いただけます。
 ※令和7年3月まで
 ※65歳未満の方は路線限定